



平成30年度福島県
「大学生の力を活用した集落復興支援事業」

喜多方市高郷町本村地区 実態調査報告

獨協大学地域活性化プロジェクト大坪チーム

目次

1. 活動メンバー、活動内容紹介
2. 喜多方市高郷町本村地区の概要
3. 喜多方市高郷町本村地区の現状
4. 本村地区の抱える問題と課題
5. 課題解決のための提案

活動メンバー、活動内容

2018年度大坪チームメンバー

学科	学年	氏名
フランス語	2	猪爪 麻衣子
英語	2	窪谷 ちひろ
フランス語	2	清野 芽生
フランス語	1	飯田 佳暖
国際環境経済	1	佐野 莉緒
国際環境経済	1	松柴 有芽
国際環境経済	1	宮本 圭

日程	活動内容
9月12、13日	第1回目の実態調査。ピザ窯でピザ焼き体験。集落を散策しながら施設の視察、ヒアリング調査を実施。そば打ち体験
10月20、21日	第2回目の実態調査。ピザ窯でピザ焼き体験(そば粉のピザも)。そば打ち体験。全戸ヒアリング調査。集落のフットパスコースを散策、集落の植物、地形、鳥獣被害などのレクチャーを受けた。
12月10～15日	大学のイベントであるEarth Week Dokkyo2018で、米山チーム、大竹チームと共同で福島集落復興支援の物産展を開催。本村地区のエコ米を販売

本年度のフィードワーク概要

- ピザ窯でピザ焼き体験
- そば打ち体験
- 全戸ヒアリング
- 地区の散策、視察



2.喜多方市高郷町本村地区の概要

2. 2. 喜多方市本村地区の概要



- 喜多方市高郷町の北西に位置する。
- 人口43人で、14世帯の集落。
- 阿賀川に合流する一級河川の深山川の東側に、川に沿って住戸が密集している。
- 標高約250m
- 最寄駅はJR荻野駅(本村まで約3km18分)
- 主要産業は農業。そばやニラの栽培を行っているが、特に稲作が盛ん。

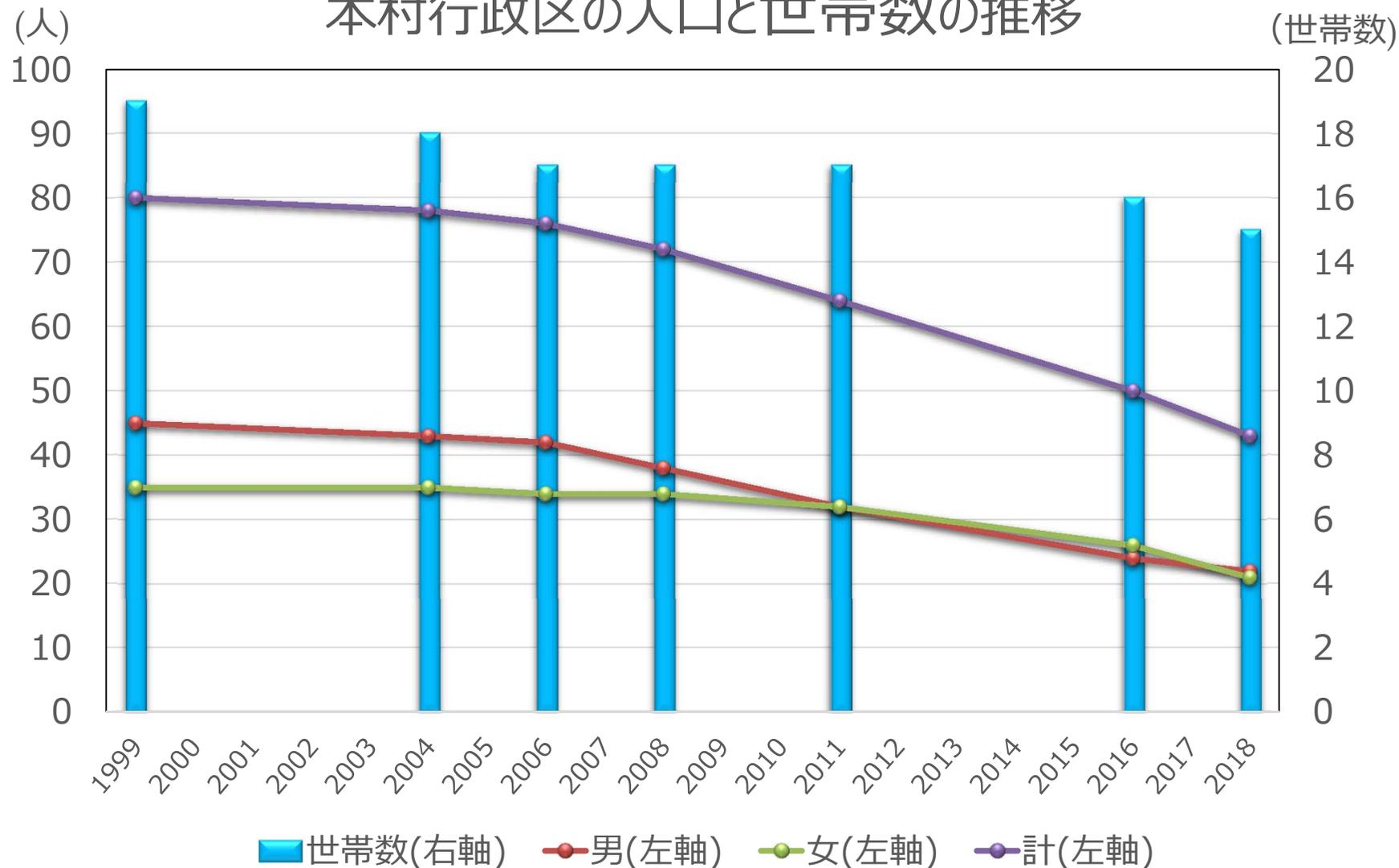
[出所]国土地理院「地理院地図」に加筆して作成 (以下のURLを参照)

(<https://maps.gsi.go.jp/#12/37.636937/139.821625/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0f0>)

3. 喜多方市高郷町本村地区の現状

3.1. 本村地区の人口

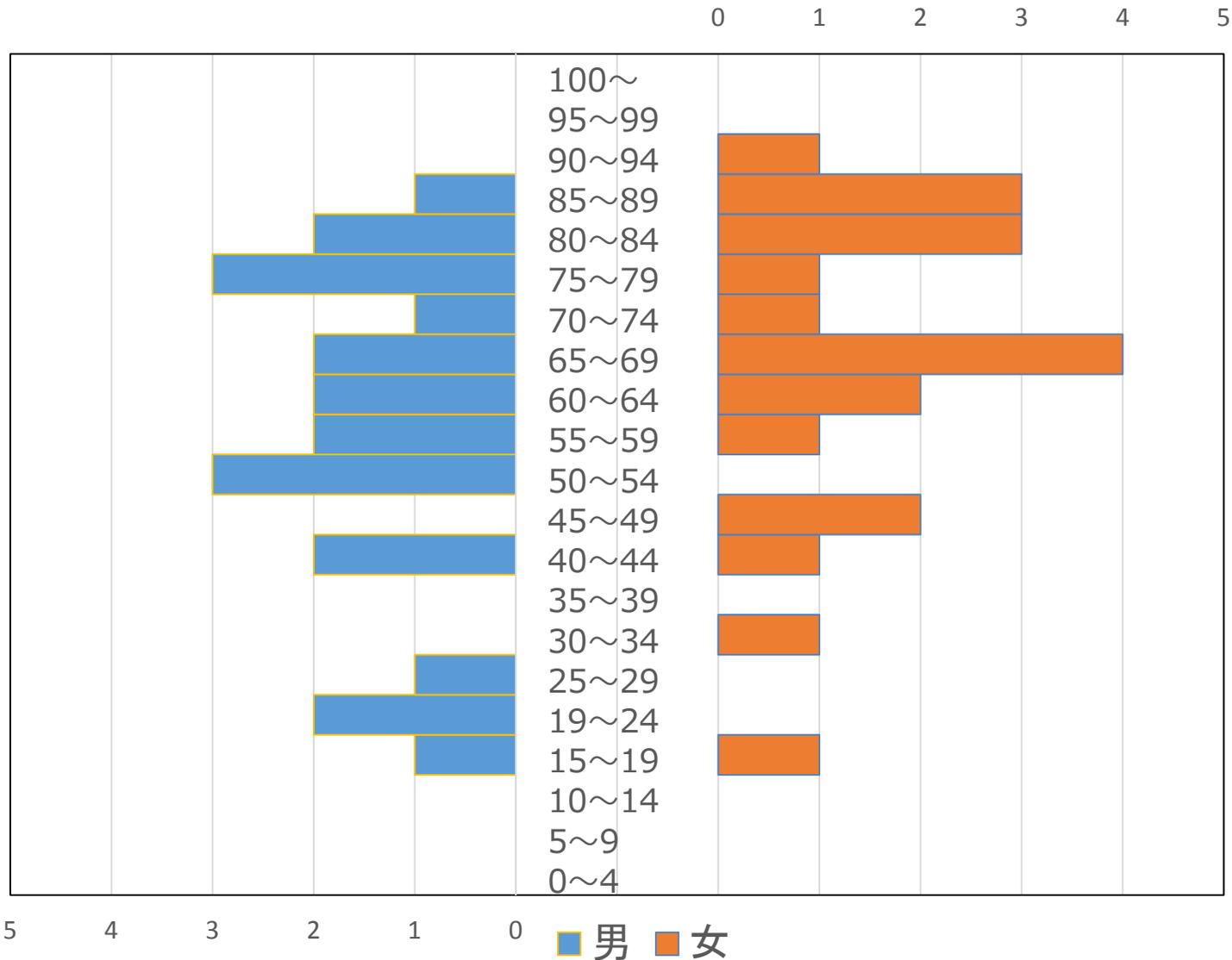
本村行政区の人口と世帯数の推移



(注)2018年は7月30日、その他の年はすべて3月31日時点。
[出所]喜多方市提供データから作成。

3.2. 本村地区の人口

本村地区人口ピラミッド



[出所]喜多方市提供データから作成。

3.3. 本村地区の暮らし

[交通手段]

- ・主な交通手段は車。近くに国道459号、49号が走る。
- ・本村地区から喜多方市中心街までは車で約30分、会津若松までは、約40分。
- ・公共交通機関は、バスが荻野駅までを18分で結ぶ。荻野駅行きが1日3便、荻野駅発が1日4便

[買い物]

- ・会津坂下、会津若松、もしくは喜多方市の市街地まで出ることになる。

[公共施設]

- ・高郷小学校、高郷中学校
- ・宿泊施設はない。
- ・高郷町に「ふれあいランド高郷」という日帰りの温泉施設がある。

3.4. 本村地区の産業

[農業の概観]

- ・主な農作物は稲作。
- ・その他、そば、大豆、わらび、ニラ等を栽培

[鳥獣被害]

- ・農作物の鳥獣被害が深刻
- ・主にイノシシ、サル、ハクビシンが出没



- ・鳥獣被害のため、動物に食べられてしまうような作物は作ることができない。



獣害対策のための電気柵

3.5.エコ米の栽培

[エコファーマー]

- 本村地区には、エコファーマーと呼ばれる、持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律(1999年制定)に基づいて認定された農業者がいる。

[エコ米の栽培]

- エコファーマーが栽培する米。
- JA会津よつばで統一策定した「会津エコ米栽培基準」に基づいて栽培される。土づくりやたい肥にこだわり、農薬や化学肥料を通常より抑えて作られる。

このエコ米は、お米の味を評価する食味検定で最高の特Aの評価をもらっている。



本村地区のエコ米

4. 本村地区の抱える問題と課題

4.1. 現地調査から得られた問題点

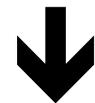
- 冬の期間（11月～3月）は、豪雪のため雪かきに追われる。
- 農作物の鳥獣被害が深刻
- 集落にほとんど平坦な場所はなく、山の斜面に暮らしている。
- 出産すると子育てがしにくいため、本村を離れる夫婦が多い。
- 進学先、就職先が近くにないため、若者が出て行ってしまい、若者が少ない（夏はまだいいが、冬は雪のため通学、通勤が困難）。
- 少子高齢化が進展

4.2. 取り組むべき課題

【課題】若者が少なく、人口減少対策が必要



【対策】私たちチームメンバーが地区と外部とのパイプ役になって、イベントを開催



【目標】外部からの訪問が増え、交流が生まれて、活性化する。

そのためには・・・

チームメンバーがもっと地区のことを知り、地区の方々とのより深い交流が**不可欠**

5. 課題解決のための提案

5.1. 本村地区の地域資源(1)

[フットパスコース]

- フットパス⇨イギリスを発祥とする「森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】ができる小径(こみち)【Path】」のこと。
- 本村にはフットパスが整備されており、日本フットパス協会が視察で訪れた。



フットパスコースからの眺め

5.2. 本村地区の地域資源(2)

[美しい棚田]



[親子桜]



5.3.フットパスコースの整備とエコツアーの企画・開催

▶ 内容

- 大学生の部活やサークルの団体向けのツアーを企画する。
- アクセス、宿泊所、アクティビティなどをすべて企画し、一つのツアーを作り上げる。
- これらを複数提案し、相手側に選択肢を与えるツアーパンフレットの作成もする。

▶ 期待される効果

- 部活やサークル規模で来てもらうので、一度に多くの人に本村を訪れてもらうことができる。
- 本村の魅力を見出してもらう機会となる。



5.4. 雪かきボランティアとボブスレー大会の開催の提案

▶ 内容

- 除雪作業を困難としている高齢者宅で学生が、雪かきのボランティアを行う。地区の豪雪と斜面を活用して、ボブスレー大会を開催

▶ 得られる効果

- チームメンバーのほとんどが関東出身で、雪の大変さを理解できていない。このボランティアをすることで地区をより知ることができる。
- 雪かきを通して、地区の方との交流を深める。
- 地区の豪雪と斜面という問題点を生かす。



地区のフットパスコースでの斜面

5.5. 鳥獣被害対策のカカシの設置

▶ 内容

- イノシシやサルなどによる深刻な獣害に悩まされている。
- 打開策として本村のそれぞれの農地にカカシを設置
- チームメンバーがそれぞれの農地の生産者さんの顔をモチーフにしたカカシの制作

▶ 期待される効果

- 動物を傷つけない方法で有害鳥獣対策ができる。
 - イベントとしても注目されて、メディアでも取り上げられて、本村の認知度が高まる。
- 地区の方々とも交流が深まる機会となる。



hp里見かかし祭りより参照

5.6. 高郷中学校寮の利活用の提案

▶ 内容

- 現在は使用されていない高郷中学校寄宿舎をエコツアーのベースキャンプとして活用
- 本村に来る外部の団体の活動の拠点として使える。

▶ 期待される効果

- より多くの若者が訪れることが可能になり、若者がお金を使うことで経済循環に繋がる。



5.7. 獨協大学における集落復興支援物産展の開催

▶ 今年度実施

- 今年度12月10日～15日の獨協大学環境週間“Earth Week Dokkyo ～Winter～”において開催された福島県集落復興支援物産展に参加し、エコ米を販売。
- 本村について展示物を用意して、本村について広報

▶ 次年度実施内容

- 11月の大学の学園祭や、大学がある埼玉県草加市のふささら祭で地区の農産物や加工品を売る物産展を開催する。

▶ 期待できる効果

- 大学内、外部の人に本村地区の知名度を上げる機会となる。
- 県外の市場拡大に繋がる。
- 地区の農家の収入に繋がる。



福島集落復興支援物産展にて、エコ米を販売

ご清聴ありがとうございました。

